

4 教育普及・コミュニケーション事業

(1) ボランティア事業

① 博物館ボランティア

解説ボランティアは5月24日、7月26日、10月11日、12月6日、3月7日に定例の研修会を行っています。また、団体見学の希望があった時や無料開館日など合計5日間、展示解説を行っていただきました。

着付ボランティアは、4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、1月、2月、3月の第3日曜日の①13:00～、②13:40～、③14:20～に開催している十二単・鎧（衣冠）の着付け体験に対応いただいています。今年度7月は実施できませんでした。なお、6月までは第2・4日曜日の①・②の回でしたが、9月以降は上記の実施回数になりました。

さをり織ボランティアは、4月18日、5月16日、6月20日、7月21日、8月8日、9月19日、10月12日、11月21日、12月7日、1月16日、3月13日にさをり織体験に対応いただいています。無料開館日の日には、作品の持ち帰りはできない、無料のさをり織体験をしていただいています。

図書ボランティアは、5月24日、8月30日、10月11日、1月31日に定例の作業日を設け、受領図書の入力、装備などの作業をしていただきました。

くらし展ボランティアは、1月18日に事前説明会を実施して、1月21日～3月13日までの間、合計22日、24校の団体見学时に体験活動のサポートを行っていただきました。

発送ボランティアは、4月18日と5月29日に発送作業を行っていただきました。

WSボランティアは、人数が少なく今年度は活動を行いませんでした。

その他、任意の研修を実施し、下記の通り、全6回実施いたしました。

内 容	日 時	講 師	参加人数
1. ガイダンス - 博物館施設案内と保存環境について -	10月19日(日) 10:00～12:00	溝邊悠介さん (京都芸術大学専任講師)	10
2. 博物館資料と展示の背景 - 展示をする・される・みる -	11月2日(日) 10:00～12:00	佐藤優香さん (東京大学大学院情報学環客員研究員)	9
3. 博物館の資料調査 - 資料を調べ記録する -	12月21日(日) 10:00～12:00	溝邊悠介さん (京都芸術大学専任講師)	8
4. 博物館の情報伝達 - さまざまな方に伝える -	1月18日(日) 10:00～12:00	高尾戸美さん (合同会社 マーブルワークショップ代表)	7
5. 博物館の学びとコミュニケーション - 思考のための問い作り -	2月15日(日) 10:00～12:00	大野照文さん (京都大学名誉教授)	7
6. 今後にむけて	3月14日(土) 10:00～12:00		5

ボランティア活動記録報告

グループ名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
くらし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	40	18	78
着付	9	11	11	5	0	8	12	11	6	11	8	10	102
発送	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
機織	5	6	6	5	5	5	4	4	3	7	0	5	55
ワークショップ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
解説	0	12	0	11	1	0	7	0	17	0	0	7	55
図書	0	6	0	0	6	0	8	0	0	8	0	0	28
	17	40	17	21	12	13	31	15	26	46	48	40	326

② ボランティアグループ「ふるさと散歩」

発掘された明石の歴史展において、受付・解説を担いました。

(2) MUSEUM PLAYER!事業

1. 目的：

博物館において、市民一人ひとりが主体となれるよう MUSEUM PLAYER! 養成講座を実施しました。その修了生とともに、ともに博物館活動を行ったり、ミュージアムに足を運んだことがない方と博物館がつながっていくための活動をつくったりして、みんなでつくる博物館を目指しています。

2. 内容・日時：

① MUSEUM PLAYER!活動 延べ136人

・月例ミーティング

無料開館イベントにおいて実施するワークショップについて、グループごとに企画・準備・実施をおこないました。

2025年4月20日・5月15日・5月17日・6月21日・7月26日
 ・8月23日・9月21日・10月25日・11月1日・12月6日・
 2026年1月24日・2月28日・3月14日 14:00~15:30

・ワークショップについての研修：6月26日

・ぶんぱくお城フェスタにてワークショップ：10月12日

・多賀町立博物館アケボノゾウ見学：10月16日

・クリスマスマーケットにてワークショップ：12月7日

・THE MUSEUM PLAYER!展

ー“AKASEA TOOL-海のあるくらし”制作の記録ー
 : 2026年3月1日~3月22日 9:30~17:30

・ワークショップ「ぶんぱくミュージアムグッズを企画しよう」
 : 2026年3月14日 14:00~16:30

② MUSEUM SUPPORT活動 延べ29人

明石の海辺のくらしについて理解を深めるアウトリーチキット“AKASEA TOOL”の制作に携わりました。具体的には町あるきや漁協見学、漁師さんへの聞き取り、水族館での調査などを取材ノートとしてまとめました。

2025年8月28日・9月5日・9月17日・9月18日・10月24日・
 11月1日 10:00~11:30

無料開館イベントのサポート:7月20日

3. 特別協力：船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

4. 所感：

MUSEUM PLAYER!による主体的な活動としてワークショップの企画を行ってきました。

これにより、無料開館日イベントがより博物館ならではのものになったといえます。また、明石の漁港へのフィールドワークや漁師さんへの聞き取り調査といった活動も、学芸員が介在することで、より専門的な学びとなり、今後学んだことを小学校などに広めていく活動に展開できればと考えます。

一方で、ワークショップの実施にあたっては、当日一緒に活動をしていくボランティアならびに館内の調整が不十分でした。これらの反省をふまえて、MUSEUM PLAYER!の活動数を見直し、イベント等に関わるすべての人と情報共有と確認をとりながら進めてまいります。



(3) ミュージアム体験プログラム事業

日時	タイトル	人数
6月14日	戦争中の明石はどんなようすだったのかな？しらべて新聞をつくってみよう	6
9月20日	伸子針を体験！布でタペストリーをつくってみよう	13
10月18日	たのしくつくろう！はじめての掛け軸づくり	17
11月15日	はにわの形って面白い！ねんどではにわをつくってみよう	15
1月17日	家紋ってなあに？軒丸瓦で、拓本に挑戦！	17
2月14日	オリジナル兜で変身しよう	17
計		85

1. 目的：

当館や博物館にはじめて来た方やあまり来たことがない方をターゲットとして、体験型のワークショップを導入として、実際に1つの資料をじっくり見たり、触れたりすることや、その資料についての解説を聞いたりすることで理解を深めていただくことを目的とする。そのことにより、参加者の興味を引き出し、再来館につなげる。

2. 材料費：(各回)500円 ※場合により常設展観覧券

3. 所感：

参加者が実物資料をじっくり観察し、学芸員の解説を聞く時間を前半にとることで、資料そのものへの理解が深まったと考えられます。しかし、ワークショップの活動内容と資料との関係がわかりにくいプログラムもあり、楽しさだけが強調されている印象も見受けられました。次年度に向けては、ワークショップの構成を見直し、活動の目的と扱う資料をより明確に結びつける仕組みづくりが必要だと感じています。たとえば、資料の特徴を体験の中で自然に理解できる工程を増やすなど、学びの流れを意識した計画を検討していきます。これにより、参加者が資料への興味を深め、再来館につながるようなより意味のあるワークショップを目指します。



(4) アウトリーチ事業



① 播磨社会復帰促進センター第14回はりま矯正展

1. 日 時：9月27日(土) 10:00～16:00
2. 場 所：播磨社会復帰促進センター
3. 内 容：オリジナルトートバッグ作り
4. 職 員：荒川 楓
5. 参加者：39人
6. 所 感：

昨年同様、当社が管理運営する播磨社会復帰促進センターの依頼により、出展しました。今年は1日開催ながら39人の参加者があり、昨年の2日間で41人の参加者と比べてもほぼ同規模で、短時間でも多くの方にご来場いただけることを実感しました。また、展覧会やイベントのチラシを配架することで、普段リーチできない層にもアプローチできたと感じています。

今後も社内ネットワークを活かし、地域との連携を深め、来館者層の拡大や参加者の満足度向上に繋げてまいります。

② 第33回大中遺跡まつり(古代体験フェスティバル)

1. 日 時：10月4日(土) 10:00～15:00
2. 場 所：大中遺跡公園、兵庫県立考古博物館
3. 内 容：オリジナルトートバッグ作り
古代の海の生き物や、明石城のスタンプを用いたトートバッグ作り
4. 職 員：井上 直子、小嶋 京子、吉永 尚美
5. 参加者：61人
6. 所 感：

大中遺跡まつりにて、当館の施設及び展覧会PR活動を兼ねて、オリジナルトートバッグづくりのワークショップを行いました。昨年度は荒天中止となりましたが、今年度は不安定な天候のなか、多くの来場者で賑わいました。ワークショップで使用するスタンプの種類が増えたため、参加者は自由にデザインしており、今年度は大人のみ参加も多くみられました。

今後も外部への出展を積極的に行い、より広い地域で多くの方に当館に興味を持っていただけるよう努めるとともに、外部施設との連携を深めていきます。

③ アートパフォーマンスフェスタin明石 公益財団法人明石文化国際創生財団 主催事業

1. 日 時：11月22日(土) 10:00~16:00
2. 場 所：あかし市民広場2階
3. 内 容：オリジナル段ボール兜づくり
4. 職 員：山本 香央里、小西 朱美、藤井 友美、武井 二葉
5. 参加者：23人
6. 所 感：

「あかし文化芸術月間」のイベントとして、11月22日(土)にあかし市民広場にて開催された「アートパフォーマンスフェスタinあかし」に参加することで、当イベントの主催者である公益財団法人明石文化国際創生財団との連携を強化するとともに、当館の取り組みを市民に周知することを目的に参加しました。

本イベントでは、段ボール兜を制作するだけでなく、兜の部位と装飾の役割の解説を入れたことで、こどもから大人まで幅広くご参加いただきました。特に小さなお子様の参加が多く見られ、完成後の兜を被っての写真撮影が大変好評でした。また、解説の際に11月13日(木)から当館で開催している企画展「船下城から明石城へ」で展示している出土品に甲小札(鎧)があることにも触れ、来館を促す声掛けを行いました。今後も来館者の拡大、地域との関係強化、教育機会の提供の場として外部出店を積極的に行っていきたいと思っております。



④ 令和7年度ひょうごミュージアムフェア

1. 日 時：2月14日(土) 10:00~16:00
2. 場 所：兵庫県立歴史博物館
3. 内 容：オリジナルトートバッグ作り
古代の海の生き物や、明石城のスタンプを用いたトートバッグ作り
4. 職 員：荒川 楓、吉永 尚美
5. 参加者：66人
6. 所 感：

ひょうごミュージアムフェアは、兵庫県内の博物館、資料館などが集結し、さまざまなPR活動を通じて、各施設の魅力を広く発信することにより、身近に感じてもらうとするイベントです。

当館の認知拡大を目的として実施し、一定の成果があったと考えます。来場者は県内在住の親子連れが中心であり、当館を初めて知る新規層の来訪が多く見受けられました。

限られたスペースでの実施でしたが、レイアウトを工夫し、安全面に配慮しながら円滑に運営することができました。スタンプのうち、明石城の図柄は特に好評で、近隣に姫路城が所在することも背景にあると推察され、地域資源への関心の高さがうかがえました。来場者からは「楽しかった」「のびのびと制作できた」との声がありました。

本取り組みにより、出張型ワークショップは新規層への周知手法として有効であることを確認しました。今後は、他館との連携の可能性を検討するとともに、当館の魅力を効果的に発信する広報活動を積極的に実施していきます。



(5) 無料開館事業

① ケアでひらくミュージアム

「みる きく はなす ～対話・多言語で広がるアート～」

※ひょうごプレミアム芸術デー参加事業

1. 目的:

現代において地域の博物館が開かれた存在であるために、どのような役割を果たせるのかを模索する試みとして昨年立ち上がった「ケア×博物館プロジェクト」。本イベントは、その一環として、博物館をより多くの人々にとって身近な場とし、ケアの視点から新たな交流や対話を生み出すことを目的としました。

当日は、特別展・常設展を無料開放し、異なる背景を持つ多様な人々が集い、対話を通じて新たな気づきを得る場をつくれます。

今年度は、全盲の美術鑑賞者・白鳥建二さんを追ったドキュメンタリー映画『目の見えない白鳥さん、アートを見に行く』の上映会を開催するほか、実際に白鳥さんをナビゲーターに迎えた対話型鑑賞を実施します。また、特別展出展作家たなかしんさんの絵本を台湾華語・韓国語で読み聞かせするイベントや昨年に引き続き、ボランティアによる実践の場となるイベントを実施します。

2. 日時: 7月21日(月・祝)

9:30～18:30(入場は18:00まで)

3. 共催: 公益財団法人明石文化国際創生財団

4. 内容:

①映画『目の見えない白鳥さん、アートを見に行く』上映会

時間: 13:00～

参加者: 65人(定員80人/申込85人)

②白鳥さんと一緒に鑑賞会

時間: 15:30～17:30

参加費: 1,000円

参加者: 5人(定員5人/申込17人)

③たなかしんさんの絵本を3つの言語できいてみよう!

時間: 10:30～

申込み: 不要(当日参加)

参加者: 148人

④ボランティアによる常設展示解説/さをり織体験

◆常設展示室解説

時間: 10:00～12:00

◆さをり織体験

時間: 10:00～12:00

参加者: 32人

⑤飲食ブース キッチンカーなど

時間: 10:00～17:00

出店者: kackey's COFFEE、スピンケア24 つむぎ、北海道バタークレープ

5. 実績:

目標 700人 / 実績人数 1,042人

本イベントは「ケア」をテーマに、博物館が多様な人々にひらかれた場となることを目指して実施し、来館者数は目標を大きく超える1,042人にのびりました。

白鳥建二さんによる映画上映や対話型鑑賞では、視覚の有無を超えたアートの楽しみ方に触れ、深い感動と気づきを得たとの声が多数寄せられました。多言語による絵本の読み聞かせや体験型プログラムも好評で、親子連れの姿も多く見られました。

全体としては多様な来館者の交流と学びを促進し、参加者・運営側双方にとって「ひらかれた博物館」の可能性を実感する機会となりました。今後も誰もが安心して関われる博物館づくりを進めていきます。



チラシ表



チラシ裏





チラシ表



チラシ裏

② ぶんぱく お城フェスタ

※明石城まつり参画事業

1. 目的：

多様な団体や個人と協働し、当館に馴染みのない方の来館のきっかけを創出します。地域企業や団体から成る明石城まつりに参画し、異なる分野の人と物が会う場をつくり、地域全体で歴史と文化を共有し、地域に根差した博物館を目指します。

2. 日時：10月12日(日) 10:00～16:00

3. 協力・出演：

ダンシングチームKIRARA

公益財団法人明石文化国際創生財団

BeeCoss

ひらかた怪談サークル

ハートケア明石

4. 特別協力：「海の学びミュージアムサポート」

5. 内容：

①明石城まつりブース出展

ぶんぱく紹介コーナー

兜づくりワークショップ

お城スタンプラリー

②ぶんぱくダンスステージKIRARA

ダンシングチームKIRARA

③ひんやり！こわ〜いお城の怪談 ひらかた怪談サークル

④コスプレランウェイ

BeeCoss出演

⑤明石城に関する展示コーナー

⑥MUSEUM PLAYER！

・ぶんぱくクエスト

・学んで描こうアカシゾウ！

・博物館の資料でなつかしいあそび

⑦ボランティア：さをり織体験

⑧キッチンカー ハートケア明石MAGICAL kitchen

6. 実績：

目標 500人 / 実績人数 882人

今年度も明石城まつりに参画し、地域企業や団体、個人と協働しながら、多様な分野が交わる場を創出しました。ダンスステージやコスプレランウェイ、ワークショップなど、世代や関心の異なる参加者が集い、当館に馴染みのない方々にも来館のきっかけを提供することができました。

また、公園と博物館をつなぐスタンプラリーや、明石城に関するパネル展示を通じて、公園の来場者が博物館に足を運び、地域の歴史や文化に触れる動きが見られました。地域団体との協働によって、文化に親しむ人の裾野が広がり、明石全体で歴史と文化を共有する流れが生まれたことは、「地域に根差した博物館」としての役割を実感する大きな成果となりました。



③ クリスマスマーケット

※あかし文化芸術月間参加事業

1. 目的:

異なる分野の人やものをつなぐことを目的に、これまで多様なアーティストや団体と関わってきました。今年度は学生枠を拡充し、出店や発表の機会を設けることで、主体的に活動に関わる層を広げ、博物館に関心を持つ将来の担い手の育成を目指します。

2. 日時: 12月7日(日) 10:00~16:00

3. 内容:

①マーケット

市民出店13店、事業所出店13店、学校出店1店

②みんなが誰かのサンタ(協力:ぐるり明石委員会)

③ボランティア・さをり織体験 常設展示 展示室解説

④MUSEUM PLAYER!

・ぶんぱくクエスト

・学んで描こうアカシゾウ!

・博物館の資料でなつかしいあそび

⑤春季特別展広報活動(パネル展示)

⑥キッチンカー 3店

⑦ARTSHIP明石(主催:NPO法人明石障がい者地域生活ケアネットワーク)

⑧県内芸術家ロビーコンサート(主催:兵庫県芸術文化協会)

4. 実績:

目標 2,000人 / 実績人数 2,211人

今年度は、市民・事業所・学校による27ブースが出展し、手作り作品の販売やワークショップ、音楽演奏など多彩な企画が行われ、会場は終日活気にあふれました。特にロビーコンサートや「みんなが誰かのサンタ」は世代を超えた交流を生み、異分野をつなぐ場として機能しました。新たに近隣高校が出店し、生徒が積極的に広報に取り組むなど主体的な関与が見られたほか、園児や中学生の作品展示も来館者から好評を得ることができました。「みんなが誰かのサンタ」には200人以上が参加し、多くの若年層が博物館活動に触れる機会となり、地域住民・学生・ボランティアとの交流にもつながりました。



チラシ表



チラシ裏



(6) 人材養成事業（博物館実習・トライやる・ウィーク等）

No	学 校 名	日 程	内 容	参加人数
1	錦城・衣川・大久保・朝霧・望海・ 魚住東 / 中学校	6月3日(火) ～7日(金)	トライやる・ウィーク 館内見学・広報・資料整理・受付・ 展示の体験	7名
2	明石清水高等学校	7月19日・21日・ 22日・23日・24日	インターン イベント設営・人員整理・資料整理	1名
3	武庫川女子大学・八洲学園大学・ お茶の水女子大学大学院・ 神戸学院大学・甲南大学・ 関西学院大学・東京学芸大学・ 神戸芸術工科大学	8月19日(火) ～8月23日(土)	博物館実習(学芸員資格) 館内見学・概論(座学)・資料整理・ 資料展示・資料梱包・ ギャラリートーク・監視業務等	9名

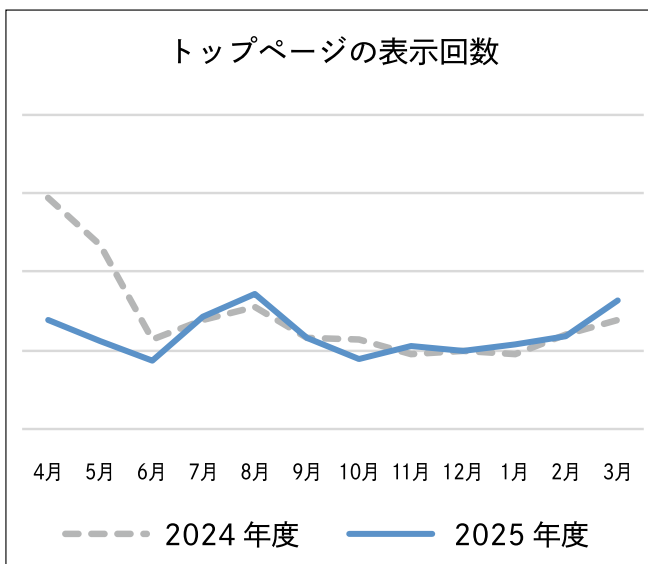
5 広報・パブリックリレーション事業

(1) 情報発信アクセス数

① ホームページ

SNSのフォロワー数が増えていることからHPへのアクセス数の増加を予想していましたが、春季特別展で数字が落ち込みました。しかし、以降はメディア媒体やSNS経由での流入が増え、広報活動による成果が見受けられます。来年度は、届けたい層の属性を意識したWebコンテンツ制作に取り組めます。

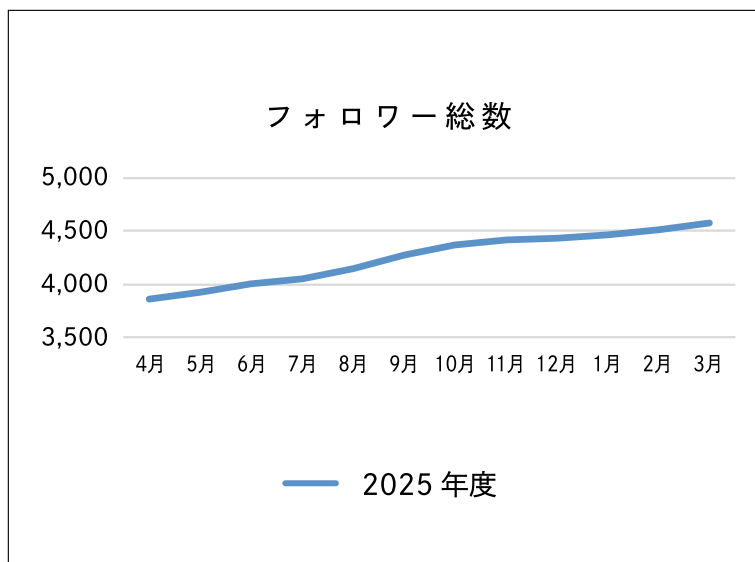
計測年月	表示回数	ユーザー数
2025年4月	27,852	9,415
2025年5月	22,458	8,538
2025年6月	17,142	6,156
2025年7月	28,361	9,537
2025年8月	34,272	12,321
2025年9月	23,288	7,899
2025年10月	17,530	6,285
2025年11月	20,892	6,881
2025年12月	19,983	7,535
2026年1月	21,622	7,548
2026年2月	23,591	9,382
2026年3月	32,474	16,990



② SNS

本年度のSNS運用においては、単なる「展覧会情報の告知媒体」としての活用に留まらず、「視聴者が能動的に楽しめるコンテンツの提供」に取り組まれました。例えば月刊「中の人」通信などの「作り手の顔が見える」投稿企画を多角的に展開した結果、ユーザーとのエンゲージメントが深化し、全プラットフォームにおいてフォロワー数の着実な増加を達成しました。本年度の成果を基盤とし、次年度はさらに一歩進んだ「プラットフォーム最適化」に取り組んでいきます。

計測年月	フォロワー総数
2025年4月	3,867
2025年5月	3,927
2025年6月	4,007
2025年7月	4,059
2025年8月	4,155
2025年9月	4,282
2025年10月	4,365
2025年11月	4,413
2025年12月	4,429
2026年1月	4,459
2026年2月	4,522
2026年3月	4,585



(2) 取材・撮影等の受け入れ

No.	日程	依頼者 (新聞・TV・ラジオ・雑誌)	掲載日 放映日	内 容
1	4月5日(土)	読売新聞	4月8日(火)	春季特別展「いわさきちひろ×plaplaax あれこれいのち」
2	4月6日(日)	ケーブルニュース明石	未定	春季特別展「いわさきちひろ×plaplaax あれこれいのち」
3	4月10日(木)	神戸新聞	4月16日(水)	春季特別展「いわさきちひろ×plaplaax あれこれいのち」
4	6月17日(火)	神戸新聞	未定	「戦後80年―戦時下の明石―」(常設前展示)
5	7月17日(木)	神戸新聞	7月20日(日)	夏季特別展「そうぞうのかけら―砂で紡ぐたなかしんの物語―」
6	7月18日(金)	毎日新聞	8月13日(火)	夏季特別展「そうぞうのかけら―砂で紡ぐたなかしんの物語―」
7	7月18日(金)	明石ケーブルテレビ	未定	夏季特別展「そうぞうのかけら―砂で紡ぐたなかしんの物語―」
8	7月30日(水)	明石ケーブルテレビ	8月25日(月) 9月1日(月)	夏季特別展「そうぞうのかけら―砂で紡ぐたなかしんの物語―」
9	8月12日(火)	サンテレビ	8月26日(火)	夏季特別展「そうぞうのかけら―砂で紡ぐたなかしんの物語―」
10	8月17日(日)	神戸新聞	8月20日(水)	夏季特別展「そうぞうのかけら―砂で紡ぐたなかしんの物語―」
11	9月30日(火)	神戸新聞	10月2日(水)	あかし若手アートチャレンジ
12	10月3日(金)	神戸新聞	未定	企画展「明石藩の世界13 明石で華ひらく知と美の世界―蛭巖・華山が遺したもの―」
13	10月17日(金)	毎日新聞	未定	企画展「明石藩の世界13 明石で華ひらく知と美の世界―蛭巖・華山が遺したもの―」

(3) ぶんぱくパスポート

2025年4月1日より、従来の年間観覧券「ぶんぱくパスポート」(1,200円)に加え、同伴者1名無料や企画展図録の進呈など、新たな特典を付した「ぶんぱくパスポートPREMIUM」(3,000円)の運用を開始し、本年度は積極的に加入促進に取り組んでまいりました。

その結果、1年間で「ぶんぱくパスポート」153人、「ぶんぱくパスポートPREMIUM」37人の加入があり、両パスポートを合わせた累計加入者数は190人となりました。これは前年比283%の大幅な増加となっています。

次年度においても、特典の充実や広報強化を通じて、さらなる会員獲得に努めてまいります。

明石市立文化博物館年間観覧券
ぶんぱくパスポート



ぶんぱくパスポート (1,200円)



ぶんぱくパスポートPREMIUM (3,000円)

(4) ぶんぱくパートナーズ

2025年度は、ぶんぱくパートナーズとして従来の〈ぶんぱくパスポート提携店〉の拡充を図るとともに、新たな取り組みとして、地域企業・店舗とのさらなる連携強化を目的に、ぶんぱくパートナーズ〈協賛〉の募集を実施いたしました。

ぶんぱくパートナーズ〈協賛〉については、2025年10月から2026年3月まで募集を行い、SNSやホームページでの周知に加え、明石商工会議所および一般社団法人明石観光協会のご協力も得て、合計11企業・店舗よりご協賛のお申込みをいただきました。

また、ぶんぱくパスポート提携店につきましても順調に拡充しており、2025年4月時点で15店舗であった提携店数は、2026年3月末時点で24店舗となりました。

なお、協賛金につきましては、来館者にとって快適な環境整備や、イベント・体験事業の実施、質の高い文化芸術との出会いの創出に活用させていただきます。

今後も地域との連携を一層推進し、関係各所と協働しながら、地域活性化に寄与してまいります。

ぶんぱくパートナーズ〈協賛〉



ぶんぱくパスポート提携店



ぶんぱくパスポート提携店用
店頭ステッカー

長井珈琲倶楽部
シューズショップ カワカミ
葉マツモトキョシ アスピア明石店
家族亭 アスピア明石店
ABC-MART
BELLINO
くらしのファッション つむら
五感byつむら
ファイテンショップ アスピア明石店
阪急ベーカリー アスピア明石店
フラワーボックス
明石家旅館別館

明植堂
サンマルクカフェ
明石公園TTT
ハロー！パソコン教室 明石駅前校
明石名産ギフトしらかわ
ダンマルシェ 明石店
富士の山菓舗
パティスリーマリアージュ
手作り雑貨のセレクトショップ 明石Kaen
Pie saQ.
タコあしCAFE
本焼あなご下村 (2026年3月時点)

(5) ミュージアムグッズ

明石市にゆかりのある物や、当館の収蔵品などを展示の延長として企画・制作しております。展示を観覧した時の感動やグッズを買った時の思いを、日常に持ち帰ることができるメディアとしての役割も果たしております。当館で特に印象に残るアカシゾウをデザインしたクリアファイルや缶バッジ、明石城図のクリアファイルなど明石市のお土産や来館記念になるものが売れ筋となっています。また、地域の企業とも連携し、『KobeINK物語特別色 AkashiMuseumGold』を販売しています。さらに、明石の伝統を未来に繋いでゆくために、地域の団体と連携し、明石の布団太鼓のクリアファイルを作成しました。今後も、当館や地域に根差したグッズの開発・販売を進めていきます。



アカシゾウをデザインした
クリアファイル



ナガサワ文具センターとコラボした
『KobeINK物語特別色 AkashiMuseumGold』



明石の布団太鼓の
クリアファイル

6 管理運営

(1) 入館者数・観覧者数

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入館者数	5,450	5,570	1,181	3,196	5,795	3,203	2,383	2,083	3,566	2,622	5,553	3,783	44,385
有料入館者数	3,253	3,366	719	1,229	3,299	1,787	861	1,073	805	963	1,403	1,611	20,369
大人	1,695	1,975	417	889	2,527	1,304	487	620	461	652	992	1,075	13,094
大・高生	63	94	26	45	167	93	29	88	100	40	65	116	926
高齢者	1,238	1,061	218	204	342	279	297	293	205	202	224	298	4,861
障害者	255	230	58	87	258	107	48	72	39	67	120	113	1,454
障害者大・高	2	6	0	4	5	4	0	0	0	2	2	9	34
有料入館者数	2,197	2,204	462	1,967	2,496	1,416	1,522	1,010	2,761	1,659	4,150	2,172	24,016
大人	373	582	54	989	647	245	875	371	1,901	54	51	109	6,251
大・高生	1	0	1	48	0	2	0	1	4	0	3	28	88
小・中学生	319	418	154	487	958	511	321	267	436	1,204	2,959	1,070	9,104
未就学	223	264	31	235	395	337	47	90	239	159	828	633	3,481
明石市65歳以上	1,273	938	215	205	490	307	271	280	174	215	243	292	4,903
その他	8	2	7	3	6	14	8	1	7	27	66	40	189
駐車場（台）	770	1,171	484	601	1,135	699	646	1,050	579	529	1,569	832	10,065
駐車場（有料）	683	1,028	345	492	1,043	589	493	905	413	417	1,330	677	8,415

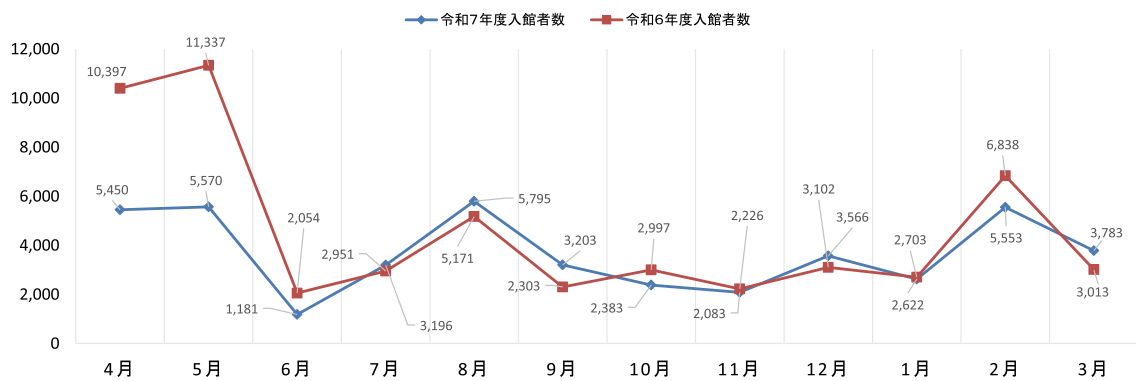
令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入館者数	10,397	11,337	2,054	2,951	5,171	2,303	2,997	2,226	3,102	2,703	6,838	3,013	55,092
有料入館者数	6,699	6,635	1,165	1,149	2,095	1,292	1,035	795	889	1,473	1,349	1,153	25,729
無料入館者数	3,698	4,702	889	1,802	3,076	1,011	1,962	1,431	2,213	1,230	5,489	1,860	29,363
駐車場（台）	1,242	1,482	821	492	878	511	515	1,062	734	581	2,146	858	11,322
駐車場（有料）	1,135	1,397	653	399	800	401	392	913	503	397	1,840	729	9,559

前年対比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入館者数	52.4%	49.1%	57.5%	108.3%	112.1%	139.1%	79.5%	93.6%	115.0%	97.0%	81.2%	125.6%	80.6%
有料入館者数	48.6%	50.7%	61.7%	107.0%	157.5%	138.3%	83.2%	135.0%	90.6%	65.4%	104.0%	139.7%	79.2%
無料入館者数	59.4%	46.9%	52.0%	109.2%	81.1%	140.1%	77.6%	70.6%	124.8%	134.9%	75.6%	116.8%	81.8%
駐車場（台）	62.0%	79.0%	59.0%	122.2%	129.3%	136.8%	125.4%	98.9%	78.9%	91.0%	73.1%	97.0%	88.9%
駐車場（有料）	60.2%	73.6%	52.8%	123.3%	130.4%	146.9%	125.8%	99.1%	82.1%	105.0%	72.3%	92.9%	88.0%

入館者数比較



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和7年度入館者数	5,450	5,570	1,181	3,196	5,795	3,203	2,383	2,083	3,566	2,622	5,553	3,783
令和6年度入館者数	10,397	11,337	2,054	2,951	5,171	2,303	2,997	2,226	3,102	2,703	6,838	3,013
(内訳)												
大人	2,331	2,789	536	1,968	3,438	1,670	1,418	1,064	2,408	800	1,229	1,337
大高生	66	100	27	97	172	99	29	89	104	42	70	153
高齢者	2,511	1,999	433	409	832	586	568	573	379	417	467	590
小中学生	319	418	154	487	958	511	321	267	436	1,204	2,959	1,070
未就学	223	264	31	235	395	337	47	90	239	159	828	633
計	5,450	5,570	1,181	3,196	5,795	3,203	2,383	2,083	3,566	2,622	5,553	3,783

(2) 貸館利用状況

利用件数 70件

(ギャラリー23件、大会議室52件、内ギャラリー・大会議室同時利用5件)

質問項目	満足	どちらともいえない	不満
総合的満足度	50	8	1

質問項目	非常に良い	良い	普通	良くない	非常に良くない
職員の対応	41	17	3	0	0

総合満足度は84.7%の方が「満足」と回答されました。

職員対応も、95.1%の方が「良い」以上と回答されました。

令和7年度におけるギャラリーの利用者アンケート結果からは、総合的な満足度について概ね良好な評価が得られました。利用目的に応じた空間の広さや使い勝手に対して肯定的な意見が見られ、会場環境や利便性に対する一定の満足度がうかがえます。

また、職員の対応についても、丁寧かつ円滑な案内・対応に対する評価が寄せられており、安心して利用できたとの声が見受けられました。

一方で、設備・備品に関する改善要望や、手続き面に関する意見も一部見られることから、今後の運用改善に向けた課題も確認されています。

今後は、寄せられた意見を踏まえ、ハード面・ソフト面の両面において改善を図るとともに、さらなる満足度向上および利用促進につなげてまいります。

【利用率】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
ギャラリー	利用日	30	29	9	26	31	20	145	28	22	14	17	23	22	126
	利用可能日	30	29	25	26	31	28	169	28	28	24	25	25	26	156
	利用率	100.0%	100.0%	36.0%	100.0%	100.0%	71.4%	85.8%	100.0%	78.6%	58.3%	68.0%	92.0%	84.6%	80.8%
大会議室	利用日	20	18	22	19	23	24	126	19	28	17	21	24	20	129
	利用可能日	30	29	25	26	31	28	169	28	28	24	25	25	26	156
	利用率	66.7%	62.1%	88.0%	73.1%	74.2%	85.7%	74.6%	67.9%	100.0%	70.8%	84.0%	96.0%	76.9%	82.7%

【稼働率】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
ギャラリー	利用区分	180	174	27	156	186	55	778	138	132	84	102	138	132	726
	利用可能区分	180	174	150	156	186	168	1,014	168	168	144	150	150	156	936
	稼働率	100.0%	100.0%	18.0%	100.0%	100.0%	32.7%	76.7%	82.1%	78.6%	58.3%	68.0%	92.0%	84.6%	77.6%
大会議室	利用区分	28	26	36	48	46	48	232	40	75	30	41	55	41	282
	利用可能区分	90	87	75	78	93	84	507	84	84	72	75	75	78	468
	稼働率	31.1%	29.9%	48.0%	61.5%	49.5%	57.1%	45.8%	47.6%	89.3%	41.7%	54.7%	73.3%	52.6%	60.3%

■累計利用率

ギャラリー	利用日	271
	利用可能日	325
	利用率	83.4%
大会議室	利用日	255
	利用可能日	325
	利用率	78.5%

■累計稼働率

ギャラリー	利用区分	1,504
	利用可能区分	1,950
	稼働率	77.1%
大会議室	利用区分	514
	利用可能区分	975
	稼働率	52.7%

(3) 収支報告

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予 算	金 額	予 算 差	摘 要
指定管理料	144,960,000	144,960,000	0	コミュニティ助成金 500万円含む
精算返戻金	0	-4,711,072	-4,711,072	
利用料金収入	10,679,000	11,290,885	611,885	
その他収入	2,907,000	7,984,063	5,077,063	海の学びミュージアム サポート助成金237万円含む
収 入 合 計	158,546,000	159,523,876	977,876	

【支出の部】

科 目	予 算	金 額	予 算 差	摘 要
人件費	48,010,000	52,746,180	4,736,180	
事務費	3,365,000	4,107,160	742,160	
管理費	53,046,000	50,593,677	-2,452,323	
物件費	1,300,000	2,513,138	1,213,138	
負担金	55,000	55,000	0	
事業費	42,597,000	44,371,616	1,774,616	
その他	2,153,000	2,413,483	260,483	
一般管理費	8,020,000	8,020,000	0	
支 出 合 計	158,546,000	164,820,254	6,274,254	

【損益の部】

科 目	予 算	金 額	予 算 差	摘 要
差引収支	0	-5,296,378	-5,296,378	

※夏季特別展「そうぞうのかけら一砂で紡ぐたなかしんの物語-」において、一般財団法人自治総合センター令和7年度「コミュニティ助成金(地域の芸術環境づくり助成事業)」より5,000,000円の助成を受けた。

※MUSEUM PLAYER!事業(ぶんぱくお城フェスタを含む)、ボランティア事業の研修において船の科学館「海の学びミュージアムサポート」事業より、2,370,000円の支援を受けた。

(4) 研修参加状況

No	研 修 名	期 間	参 加 者	実施/参加
1	第1回 播磨地域文化施設の連携、ネットワーク化会議	6月4日(水)	荒川 楓	参加
2	第1回 兵庫県博物館協会総会および第1回研修会	6月13日(金)	現地：木村 亜紀子、武井 二葉 オンライン：北野 恭子、山口 正貴、 原田 愛子	参加
3	第2回 障がい者の生涯学習「東播磨地域ネットワーク」 構築のための懇話会	9月4日(水)	木村 亜紀子、武井 二葉、北野 恭子	参加
4	国立民族学博物館開催「みんなく Sama-Sama塾」視察	9月23日(火)	北野 恭子	参加
5	ユニバーサルデザイン「モリサワフォント見学」	9月12日(金)	木村 亜紀子、原口 聡、井上 直子、 原田 愛子、武井 二葉	企画・参加
6	鳴く虫と郷町20回シンポジウム 「鳴く虫と郷町のこれまでとこれから」	9月13日(土)	木村 亜紀子、原田 愛子	参加
7	全国博物館大会「持続可能な世界と博物館の発展 ～未来・社会・ウェルビーイングに貢献する博物館～」	11月19日(水) ～20日(木)	北野 恭子、原田 愛子、木村 亜紀子	参加
8	兵庫県文化財防災研修会	11月28日(金)	西本 暢子、原口 聡	参加
9	友の会サミット2025「博物館コミュニティの未来を考える」	11月29日(土)・ 11月30日(日)	木村 亜紀子	参加
10	第14回文化財IPMコーディネーター資格取得のための講習会	12月9日(火)・ 12月10日(水)	木村 亜紀子、西本 暢子、吉本 由梨香、 濱室 かの子	参加
11	第3回 障害者の生涯学習「東播磨地域ネットワーク」 構築のための懇話会	12月10日(水)	北野 恭子	参加
12	高丘西小学校鑑賞グループ「授業研究会」の見学	1月9日(金)	西本 暢子、北野 恭子、原田 愛子	参加
13	第二回アートコミュニケーションプログラム研修会	1月13日(火)	木村 亜紀子、須貝 隆弘、西本 暢子、 濱室 かの子、北野 恭子、山口 正貴、 原田 愛子	参加
14	アートマネジメント講座「大人の博物館実習」	1月21日(水)	北野 恭子、山口 正貴、原田 愛子、 山本 香央里、小嶋 京子、吉永 尚美、 小西 朱美	参加
15	令和7年度兵庫県合理的配慮アドバイザー派遣【社員研修会】	2月3日(水)	小嶋 京子、小西 朱美、吉永 尚美	参加
16	兵庫県博物館協会 第2回研修会	2月18日(水)	現地：山本 香央里 オンライン：北野 恭子、原田 愛子、 小嶋 京子、吉本 由梨香、西本 暢子、 木村 亜紀子	参加
17	神戸市立森林植物園施設見学・研修	2月16日(月)午前	木村 亜紀子、西本 暢子、吉本 由梨香、 荒川 楓、井上 直子、武井 二葉、 山本 香央里、吉永 尚美、藤井 友美、 原田 愛子	企画・参加
18	「事業の計画と評価」研修	2月16日(月)午後	木村 亜紀子、西本 暢子、濱室 かの子、 吉本 由梨香、須貝 隆弘、荒川 楓、 井上 直子、小西 朱美、北野 恭子、 武井 二葉、藤井 友美、原田 愛子、 山口 正貴、山本 香央里、吉永 尚美	企画・参加
19	第4回全日本博物館学会研究会 アンケートのお悩み相談一設計から分析まで	2月22日(日)	北野 恭子	参加
20	「みんなのお仕事棚卸会議」研修会	3月2日(月)	木村 亜紀子、西本 暢子、濱室 かの子、 吉本 由梨香、須貝 隆弘、井上直子、 小西 朱美、北野 恭子、武井 二葉、 藤井 友美、原田 愛子、山口 正貴、 山本香央里、小嶋 京子	企画・参加
21	第4回 障がい者の生涯学習「東播磨地域ネットワーク」 構築のための懇話会	3月11日(水)	武井 二葉、北野 恭子	参加
22	伝わる言葉・伝わるデザイン～チラシ作りのコツ～	3月17日(火)	北野 恭子	参加
23	令和7年度古代体験研究フォーラム報告書	3月27日(金)	荒川 楓	参加